

みんなのた場



桃生地区・神取

高橋 瑠菜さん(11歳・津山第一小5年)
一颯君 (8歳・向3年)
侑里ちゃん(3歳・新田保育所)

祖父、両親を含め空手一
家に育つ3人のきょうだ
い。地元道場の「絃武会」で
心身を鍛えています。

長女の瑠菜さんは、8月
に東京で開かれた第18回全
日本少年少女空手道選手権
大会に宮城県代表の一人と
して出場、形の部で3回戦
まで進みました。「もつと稽
古をして、さらにいい成績
を上げたい」と、高い向上心
を持ち続けています。

父・一さんは「目標を掲げ
努力することが大切」と3
人の成長を見詰めます。



(左から)一颯君、侑里ちゃん、瑠菜さん

3人で精進、空手の道

レーニングを行いました。参加した生徒は、全国レベルの部員たちの練習を体験することができ、とても貴重なことだと話していました。

《石巻市子どもの未来づくり事業》

8月4日に1・2年生の生徒会執行部6人が参加しました。石巻の未来について考えるというテーマで、小・中学生のグループに入りファシリテーターとして意見を引き出すという役割でした。最初は難しく感じただけ、徐々に慣れてきて、多くの意見を引き出すことができたのでよかったという感想をもらいました。

この他にも、生徒会ではテスト週間を除く毎週金曜日の朝に昇降口前での挨拶運動を実施して、挨拶の活性化と品格ある制服の着こなしを呼びかけるなど、学校生活を充実させるために、自分たちでいろいろなことに取り組んでいます。

また、桜坂高校には、生徒会活動のほかに家庭クラブという組織があり、全校生徒がクラブ員になっています。

家庭クラブは、「創造」、「勤労」、「愛情」、「奉仕」の基本精神のもと各種ボランティア活動や美化活動、体験学習などを行っています。

私たち桜坂高生は、さまざまな活動を通して、女子力が高まっていくような気がします。

今年、平和教育について戦争や原爆の悲惨さなどを、動画や資料などを使ってとても分かりやすくお話してもらいました。

原爆に関する映像を見たときは、とても衝撃を受けましたが、平和の大切さを学ぶことができました。

《大阪桐蔭高校との生徒会リーダー講習会》



大阪桐蔭高校サッカー部との合同トレーニング

大阪桐蔭高校サッカー部は東日本大震災以降毎年被災地を訪問し、復興の様子を学ぶなど、各地の学校と交流を図っています。

7月28日に部員が初めて桜坂高校を訪れ、本校生徒と防災をテーマにグループワークを行い、全体共有として発表をしました。

大阪桐蔭高校の生徒は、この体験を大阪に持ち帰りこれからの活動に生かしたいと話していました。その後、桜坂高校の運動部の生徒と一緒に準備運動などト

石巻市立桜坂高等学校 桜坂だより 第3号

盛んな交流 生徒会活動

こんにちは。桜坂高校です。
今月は、生徒会の活動についてお話しします。
本校の生徒会では、他校との交流が盛んに行われています。今回は夏休みに行われた交流事業について紹介します。

《広島市立広島商業高校との交流会》



広島商業高校と平和について学習

これは、平成24年度に統合前の石巻市立女子商業高校を広島商業高校の先生が訪問して以来続いている交流で、今年も代表生徒が桜坂高校を7月26日に訪れました。

食育推進コーナー



『みやぎ食育フォーラム～みやぎの食育を次世代につなげよう～』を開催します！

と き 11月16日(金) 午後1時～3時30分
と ころ 東北歴史博物館 講堂(多賀城市高崎一丁目22-1)
内 容 パティシエール 柿沢 安耶 氏の講演

テーマは「～身土不二～野菜と大豆のパワーで身体も地域も元気になろう！」。
柿沢氏は、世界初の野菜スイーツ専門店を開店、新しいムーブメントを作ったパティシエとして注目され、農林水産省を中心とした自給率アップをうたう政府広報活動「FOOD ACTION NIPPON」のメンバーとしても活躍中の「パティスリーポタジエ」オーナーパティシエール。このほか活動事例発表もありますので、皆様のご来場をお待ちしています。

☎ 県健康推進課 食育・栄養班 ☎022-211-2637
健康推進課 (内線2428)



だざんじつり

長寿のひけつ 58
亀山なつみさん 100歳(湊町)

亀山なつみさんは大正7年8月20日、渡波鹿松に生まれました。20代中ごろに、流留で運送業をしていた阿部徹さんと結婚。徹さんが婿入りし1男1女に恵まれましたが、2人目が生まれた直後に徹さんは戦争に徴集され、戦死しました。

現在は長女の養子さん(73)と2人暮らし。週3回のデイサービスと月数回のショートステイを利用していますが、最近の楽しみはここでいろいろな人と話すこと。娘と一緒に暮らすことができること、自分で体につけることが健康の秘けつと話しています。

戦後は知り合いの水産加工場で働いた後、渡波保育所やふたば保育所などで給食業務に従事。その後は、大手町にあった母子寮で寮母として働き、子どもを養いました。

一人っ子ということもあるのか、しっかりしていて芯が強い性格。これまで大病したことはないとのこと。食事も自分で食べており、肉類、魚介類が好物です。



10/9 雄勝 大須崎灯台、「恋する灯台」認定

ハート形漁港見下ろすスポット



Topic of town まちの話題



雄勝半島先端にある大須崎灯台が、(一社)日本ロマンチスト協会が選ぶ「恋する灯台」に、灯台が立地する石巻市が「恋する灯台のまち」に認定され、10月9日、同協会の波房会長から認定証が送られました。大須崎灯台から見下ろすとハート型に見える大須漁港の風景は、雄勝地区の新たな観光名所として期待されます。

10/7 河北 二子団地で法印神楽奉納

北野神社奉祝祭

10月7日、二子三丁目の公園で約400年以上続く伝統行事「北野神社奉祝祭」が開かれました。舞台では「釜谷長面尾の崎法印神楽保存会」と「女川法印神楽保存会」により、8時間にわたって11演目が披露されました。この祭りは震災後、追波川河川団地の仮設住宅で行ってききましたが、集団移転が進んだことから初めて二子団地での開催となり、地域住民や遠方から暮らす皆さんも多く訪れ、故郷を思いながら神楽を懐かしんでいました。



9/18 石巻 「ダイヤモンド・プリンセス」初寄港

欧米の乗客らを歓迎

石巻港に9月18日、英国籍の豪華客船「ダイヤモンド・プリンセス」(11万5,875ト)が初寄港しました。過去最大のクルーズ船の入港を歓迎し、地酒を振る舞ったほか、ホヤの焼き物やかまぼこなど石巻の海産物を販売しました。乗客2,714人のうち、8割が欧米人。「いしのみき元気いちば」まで運行の大型バスに乗るなどして石巻観光を満喫しました。



9/3 桃生 交通死亡事故ゼロ1000日達成

感謝状伝達

桃生地区は9月3日、交通死亡事故ゼロ連続1,000日を達成しました。翌4日、桃生総合支所で河北警察署長から感謝状の伝達式が行われました。桃生地区は平成27年12月8日以来、交通死亡事故が起きていません。さかのばれば、26年度にも交通死亡事故ゼロ1,500日を記録しています。今後も関係機関が一丸となって交通死亡事故のない、安心の住み良い地域を持続します。



9/8 河南 「長生きしてね」児童が作文

地区敬老会

河南地区敬老会が9月8日、遊楽館で開かれ、長寿と健康を祝いました。市長らの祝辞に続き、地元の小学6年生の男女2人が「おじいさん、おばあさん。長生きしてください」と感謝の思いを込めた敬老作文を読み上げました。約300人の出席者は健康維持のため軽く手足を動かすダンベル体操を体験したほか、地域の愛好者らによる歌や踊りなどの演芸を楽しみました。



10/5 牡鹿 秋の景色楽しみ 爽やか汗

ウォーキング教室

牡鹿公民館主催の「牡鹿ウォーキング教室」が10月5日、御番所公園周辺で行われました。住民ら10人が石巻ウォーキング会の指導を受け、適度に起伏のある往復2.5kmのコースを歩きました。秋晴れの下、目に見える金華山や太平洋を望む景観などを楽しみながら、それぞれのペースを守り、爽やかな汗を流しました。



9/16 北上 地域の安全守り 操法技術を競う

消防団北上地区団が演習

市消防団北上地区団は9月16日、北上中学校校庭で本年度の消防演習を行いました。7チームが機械器具点検の後、積載車操法競技を実施し、日夜訓練に取り組んできた成果を発揮しました。審査の結果、1位は第1分団・釜谷崎班、2位が第3分団小滝班、3位が同相川班となりました。団員は、地区の安全安心のための技術向上をあらためて誓いました。

